学校番号	３０８

平成 31 年度　情報科

教科	情報	科目	社会と情報	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	「社会と情報」　（東京書籍）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・実践的・体験的な学習を通して、コンピュータやネットワーク・ＳＮＳの正しく安全な使い方を学び、スマートフォンを含む情報機器への理解を深め、これからの社会で役に立つ技術と知識を身に着けましょう。

2　学習の到達目標

・日常のさまざまな問題を解決するために、コンピュータを活用して情報の収集や整理を行うことができる。
・情報化が社会に及ぼす影響、情報を受信・発信するときの責任を理解した上で、ネットワークを利用したコミュニケーションを含め、情報社会に積極的に参加する。
・コンピュータの仕組みやネットワークの仕組みを理解し、それらを適切に活用できる。

3　学習評価(評価規準と評価方法)

観点	a:関心・意欲・態度	b:思考・判断・表現	c:技能	d:知識・理解
観点の趣旨	・情報を多角的・多面的に吟味し、その価値を見極めていこうとする態度 ・自らの情報活用を振り返り、評価し改善しようとする態度 ・情報モラルや情報に対する責任について考え行動しようとする態度 ・情報社会に主体的に参画し、その発展に寄与しようとする態度	・さまざまな事象を情報とその結び付きの視点から捉える力 ・問題の発見・解決に向けて情報技術を適切かつ効果的に活用する力 ・複数の情報を結び付けて新たな意味を見いだす力	・情報と情報技術を活用するための基礎・基本的な技能を身に付け、目的に応じて、情報および情報技術を適切に扱っている	・情報と情報技術を適切に活用するための知識とそれを活用して問題を発見・解決するための方法についての理解 ・情報社会の進展とそれが社会に果たす役割と及ぼす影響、および、情報に関する法・制度やマナーの意義と情報社会において個人が果たす役割や責任についての理解
評価方法	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 実習作品 レポート、発表 相互評価・自己評価 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 レポート、発表 定期考査の結果 自己評価・相互評価 等	学習状況の観察 課題作品 発表 実技テストの結果 等	学習状況の観察 ノートやワークシートの記述 定期考査の結果 等

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
1学期	情報とメディア・ディジタル情報と情報の活用	コンピュータの仕組み ネットワークの仕組み 情報セキュリティ ・パスワードの作成 情報の表現と伝達 ・表現の工夫 ポスター作成 ビジネス文書作成	○ ○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	 ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○ ○	a:コンピュータ・ネットワークの仕組みに興味をもち、正しく安全に機会を扱い学習に積極的に取り組もうとしている。 b:情報をディジタル化することの利点や問題点について考えることができる。 c: ビジネス文書の書式に合わせて、レイアウトを整え、かつスムーズなタイピングができる。 d: コンピュータ内部での情報の表し方や処理の仕組みを理解している。ディジタル化の利点について理解している。	ワークシート 授業観察 実技課題
2学期	問題解決・情報通信ネットワーク・情報社会と情報モラル	表計算ソフトの利用 データ分析 インターネットの仕組み 法とのかかわり 人・社会とのかかわり ・ネットトラブル ・ネット詐欺 ・電子メールの利用	○ ○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○ ○	○ ○	○ ○ ○ ○ ○	a:情報社会において、情報の発信者および受信者として、情報モラルや法を踏まえて、適切に行動をしようとしている。 b:情報技術、法や制度および人間との関係に基づいて情報社会の安全や発展について考えることができる。 c:情報モラルを踏まえて、情報技術を活用することができる。 d:情報化が人間に及ぼす影響について理解する。よりよい情報社会を構築するための考え方や工夫について理解する。	ワークシート 授業観察 定期考査
3学期	望ましい情報社会の構築	情報の表現と伝達 表現の工夫 問題解決とレポート作成 プレゼンテーション	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	○ ○ ○ ○	a:問題解決の方法と手段について関心をもち、問題解決に取り組もうとしている。 b:問題解決のために論理立てて、仮説・検証・発見をし、文字やスライドで表現する。 c:文書作成ソフトを用いてレポート作成、プレゼンテーションソフトを用いてスライド作成のうえ発表 d:基本的なレポートの書式と情報伝達のための表現と工夫について理解している	ワークシート 授業観察 実技課題 相互評価

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現
　　c:技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。